

ベラルーシ公開情報とりまとめ

(3月18日～3月24日)

2024年3月29日

在ベラルーシ大使館

【主な出来事】

- ルカシェンコ大統領は、ロシア大統領選挙後にプーチン露大統領と電話会談(3月18日)
- 4月24日、25日に第7回全ベラルーシ国民会議が開催予定(3月18日)
- リトアニアとの国境検問地点「カメンヌイ・ログ」から10km地点に戦車と歩兵戦闘車を配備(3月18日)

【ルカシェンコ大統領動静】

●ロシア大統領選挙の結果に関する発言

(1)プーチン露大統領との電話会談

・ルカシェンコ大統領は、プーチン露大統領の大統領選挙における勝利を祝った。

(2)第7回全ベラルーシ国民会議の準備に関する会合での、ルカシェンコ大統領の発言

・投票率がかつてなく高い水準である中、有権者の絶対多数が現職プーチン露大統領に投票し、まごうことなき圧倒的な勝利となった。

・今次ロシア大統領選挙を通じ、ロシアの人々は団結し、ロシアが国内から揺さぶられることを期待していた西側に対し深刻なシグナルを送った。このことは、2025年に大統領選挙を控えるベラルーシにとっても教訓。

・全てがロシア大統領府の計画に則って動員され、団結していた。誰もが愛国的に振る舞い、素晴らしい成果を上げた。我々にとって、これこそが教訓。

(3月18日 大統領府)

【外交】

●モスクワ郊外でのテロ事件を受けたベラルーシ側の動き

・3月22日にはルカシェンコ大統領が、翌23日にはフレニン国防大臣がそれぞれ弔電を発出。また23日にはルカシェンコ大統領とプーチン露大統領が本件につき電話会談を実施。

・グリュズロフ当地ロシア大使は、今次テロ事件を1943年3月22日に発生し、ベラルーシで毎年追悼行事が行われているハティニ村の虐殺事件になぞらえ、ロシア・ベラルーシ両国民の団結をアピール。また、ウ

クライナ政府をナチス的な体制として非難。

・25日の在ベラルーシ・ロシア大使館での記帳には、国民議会上下院議長や、ペトリシェンコ副首相、フレニン国防大臣、イヴェネツ教育大臣、ナザルク外務次官、シュヴェド検事総長、モロストフ国家国境委員長、カルペンコ中央選挙管理委員長といった政府要人の他、ルカシェンコ大統領の長男・次男も来訪。

(3月22日、23日 大統領府、ベルタ通信、25日 国営ベルタ通信)

【内政】

●4月24日、25日に第7回全ベラルーシ国民会議が開催予定

ゴロフチェンコ首相は、以下の旨発言。

・4月24日、25日に第7回全ベラルーシ国民会議を開催予定。

・初日に議長・副議長や幹部会を含めた実務に関する様々な機構の選出が行われる。幹部会は実務を行う常設の機関。

・代議員による国家安全保障に関するコンセプトや軍事ドクトリンの検討を含め、議題案も既に準備中。

(2)ルカシェンコ大統領の発言

・第7回ベラルーシ国民会議は、同会議に憲法上の地位が付与されてから最初の会合。それゆえ、外部から見ても内容の点でも、同会議を最高の水準で開催するということが極めて重要。特に華々しく、有意義で、記憶に残るものとする。

・ロシアの大統領選挙のように、非の打ち所のないものとし、国外の反体制派や西側に揚げ足をとられないようにすること。

(3月18日 国営ベルタ通信、大統領府)

●3月22日現在の政治犯の数は1,410人

(3月22日 人権団体「ヴァスナ(春)」)

【軍事・安全保障】

●ベラルーシ国内に核兵器保管庫が整備された可能性

・3月14日、米国科学者連盟(FAS)は、モギリョフ州西部オシポヴィチ近郊の保管庫において、防護用フェンスと検問所が増備されており、同保管庫における整備作業が、核兵器の保管を視野に行われた可能性があるとの見方を発表。

・3月19日、「ゼルカロ」編集部は、グーグル・マップ等の公開情報に基づき、FASが発表した保管庫がオシポヴィチ近郊の第1405砲兵弾薬基地の敷地内に所在することを確認。

(3月14日 米国科学者連盟(FAS)、19日「ゼルカロ(鏡)」)

●リトアニアとの国境検問地点「カメンヌイ・ログ」から10km地点に戦車と歩兵戦闘車が配備される

・3月18日、反体制組織「ベラルスキ・ハユン」は、リトアニアとの国境「カメンヌイ・ログ」から10km離れたM7高速道路上に戦車と歩兵戦闘車が設置されたことを確認。両戦闘車両には、カモフラージュ用の覆いがなされている。

・同日、国防省は、両戦闘車両の設置に関して、第19機械化旅団の軍人らが「戦闘訓練任務を開始したもの」と発表。

(3月18日「ベラルスキ・ハユン」、国防省)

【治安・犯罪】

●2023年にベラルーシで登録された犯罪は8万5,374件

・2022年は88,555件であった。

・犯罪の内訳は以下のとおり。

犯罪の種類	2022年(件)	2023年(件)
殺人、殺人未遂	250	224
傷害	678	564
強姦、強姦未遂	119	110
窃盗	25,653	20,708

略奪	1,232	988
詐欺	7,384	11,715
贈収賄	815	676
暴力行為	3,610	3,401
道路交通規則違反 及び車両運転規則 違反	762	762
薬物に関する犯罪	4,553	4,139

地域ごとの犯罪件数は以下のとおり。

ミンスク市	20,941
ミンスク州	13,808
ゴメリ州	13,375
ブレスト州	10,468
ヴィテブスク州	8,921
グロドノ州	8,526
モギリョフ州	9,805

(3月21日 内務省、国家統計委員会)

【経済】

●欧州司法裁判所は、国営タイヤメーカー「ベルシナ」に対する制裁を解除

・同社は、2021年12月、「ルカシェンコ政権にとって重要な収入源である」との理由でEUの制裁対象となった。

・同社は欧州理事会の決定を不服として欧州司法裁判所に不服申立て。

・欧州司法裁判所は、同社がルカシェンコ政権の重要な収入源であることを証明できず、市民社会への弾圧に同社が関与していることを示す証拠が不十分であるとして、同社に対する制裁を解除する判決を下し、欧州理事会に裁判費用の支払いを命じた。

(3月20日 欧州司法裁判所、「ゼルカロ(鏡)」)

●ウズベキスタン航空は、タシケント-ミンスク間のフライトを増便し、週3回就航(4月6日～)

(3月18日 ミンスク国際空港)

【抗議勢力の動き】

●チハノフスカヤ民主勢力代表の動向

・3 月 20 日、欧州議会で開催された、「ベラルーシの日」に出席し、演説。

・22 日、モスクワでのテロを受け、ベラルーシ人に対しても、身の安全に注意し、人混みを避けるよう呼びかけ。

(3 月 25 日 チハノフスカヤ氏公式サイト)

【その他】

●ベラルーシ初の女性宇宙飛行士マリナ・ヴァシレフスカヤ氏の国際宇宙ステーションへの打上げ

(3 月 25 日 国営ベルタ通信)

(了)